

株式会社 クリアシスト

〒160-0022 新宿区新宿1-10-4 新宿1丁目ビル6F

電話 03-3225-6541 FAX 03-3225-4545

代表取締役 棚橋遵一郎

### 価格改定のごお願い

拝啓、毎々は格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

不本意ながら弊社では、製品価格の改定(値上げ)をお願いせざるを得ない状況となっております。連日の報道にあります通り、中東情勢に好転の見通しがつかず影響が直撃しております。過去との決定的な違いは原料供給自体が不透明になっているところです。アジアではガソリン不足で従業員が通勤できなくなる可能性が出てきており、工場の稼働が著しく落ちるというリスクも懸念されます。原料価格は2/28から1カ月も経たないうちに、50%~60%値上がりしています。停戦してからも、2月以前のように戻るのに時間を要すると言われており、原料価格の下がり方も緩やかになることが予想されます。

ここ数年、もう一つの大きな要素である円の価値は下がり続けていましたが、原料価格が下がっていたため円安によるコストアップを吸収できていました。隠れていた過度な円安が、原料価格の急上昇で顕在化し、現行条件での供給継続が困難な状況となっております。つきましては、誠に恐縮ではございますが下記の通り製品価格の改定をお願い申し上げます。

### 価格改定率と実施日

価格改定率： 現行価格から +25%~35%

為替と原料価格ゾーンの設定： 160円/ドル、1500ドル/トン~1600ドル/トン

実施日： 2026年6月1日納品分より

\* 尚、在庫の都合上、通常実績を上回る仮需にはお答え出来かねますのでご容赦願います。

### ドル円レート、ポリエチレン価格について

ドル円レート：

円は現在、世界でも指折りの弱い通貨となっております。政府の積極財政の連想から2025年の9月から約10円以上下落しています。貿易赤字、家計の外貨性資産の増加、デジタル赤字の拡大などの要素に加え、中東情勢緊迫化により日銀が利上げを進めにくくなったこと、原油の値上がりによる輸入額の増加も、円安材料となっております。航空運賃の急上昇によりインバウンドの一人当たり消費額の減少も円買いの減少につながりそうです。決めつけはできませんが、円高方向へ動きにくい構図となっております。

ポリエチレン価格：

アジアのポリエチレン指標価格(ICIS report3月20日付)は、HDPE1600~1700ドル/トン、LLDPE1500~1650ドル/トン、LDPE1600~1800ドル/トンとなっております。2月28日から世界は一変してしまいました。2月までは需要が弱く、原料価格は低値で推移しておりました。現在は、過度の供給不足になり調達が非常に困難になっています。原料メーカーからの少量の割り当てか、市中原料在庫を探し続けることになり、高い値段を受け入れざるを得ない状況となっております。

ウクライナ侵攻が始まった2022年に価格改定(値上げ)をお願いしたときとの比較です。円が約30%下落しているところへ、原料価格が当時と同水準まで上がっています。

2022年4月.

2026年3月末

円/ドルレート

1ドル = 122円~124円

1ドル = 158円~160円

ポリエチレン原料

1トン = 1550~1620ドル/トン

1トン = 1450~1620ドル/トン

価格改定の詳細につきましては担当者がお伺いしたうえ、ご説明をさせていただきます。

敬具